NAKAYAMA
since1972

新製品のご案内

廉価版

球状化判定装置(SG%)

SG-TEC

エス ジー　テック

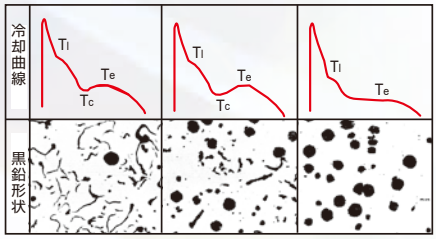
2カップスタンド同時測定機能実装

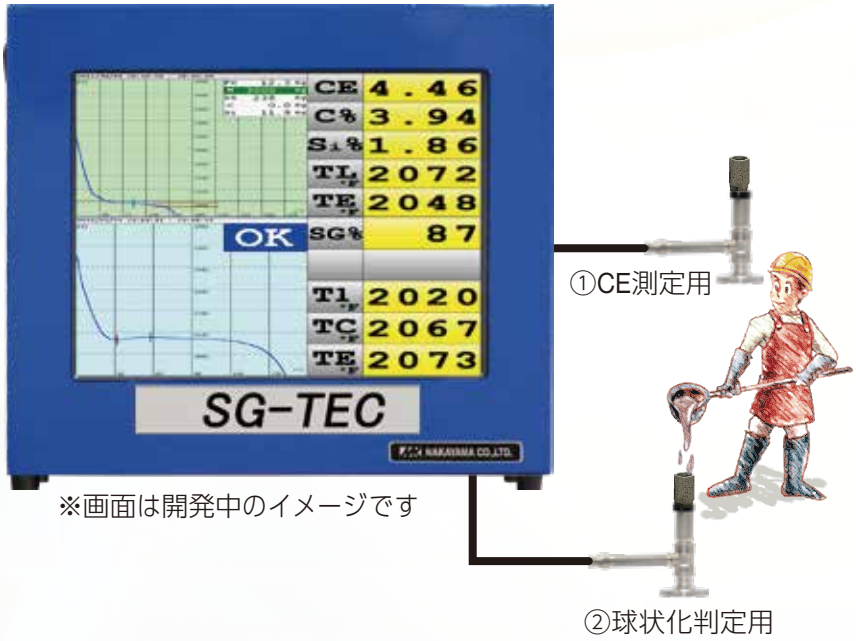
球状化処理溶湯の迅速な判定可能

① SGカップA<元湯> ――――― 測定時間３分以内にC%、Si%、CE判定

② SGカップQ<球状化処理溶湯> ― 測定時間3~4分以内に球状化率判定

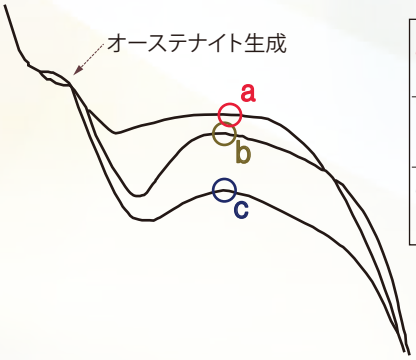
冷却曲線と黒鉛形状との関係





※画面は開発中のイメージです

片状／CV／ダクタイルの冷却曲線



a. 片状	2109°F (1154°C)
b. cv	2102°F (1150°C)
c. ダクタイル	2079°F (1137°C)

化学成分　ダクタイル鋳鉄の化学成分範囲留意点

ダクタイル鋳鉄のCおよびSi量の範囲は右記図に示すとおりである。C.E＝4.55より上の成分では正常の厚さの鋳物に炭素の浮遊を生じ、鋳物の頂部にドロスが現われる。またC.E＝3.9より下は、鋳物に過度の収縮を生ずる傾向があり、Si＝2.8%以上のダクタイル鋳鉄は-40°F以下の温度では低い衝撃値を示す。
次にSiが低いと薄肉部にに遊離カーバイドができて、機械加工を困難にし焼きなましを必要とする。さらにSiに加えてPも低温衝撃性に有害な作用をもつことが知られている。

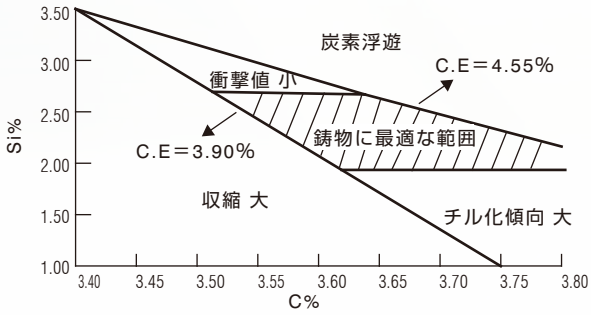


図　ダクタイル鋳鉄の化学成分範囲

公式サイト　https://www.nakayama-meps.co.jp/
TEL. 052-521-1171(代表) ／ FAX. 052-521-1180 ／ E-mail. nk-1972@nakayama-meps.co.jp/
営業担当　樋口